

競 技 注 意 事 項

1 規 則

本大会は2022年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練 習

- ・練習は補助競技場で行うものとする。補助競技場が使用できない場合、本競技場の一部を開放することもある。その場合、競技役員の指示に従うこと。 ※ 公園内など競技場外での練習は一切禁止とする。
- ・跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は、競技開始40分前から行うものとする。ただし、棒高跳は、競技開始80分前から行うものとする。練習は競技役員の指示に従い、危険防止に努めること。

3 競 技 場

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則TR5を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は両日とも7時30分予定とする。
- ・開門前の応援席確保については、正門のところから各団体2名が競技場フェンスに沿って整列すること。他の者については、一般行人の妨げにならないよう、レストハウス前広場か公園内道路で待機すること。サブトラックは、8時より利用できる。

4 招 集

- ・招集は下記の通りである。招集に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。
 - トラック種目・競技開始25分～15分前の間にスタート地点で行う。(リレー種目は7. 参照のこと)
 - フィールド種目・競技開始50分～40分前の間に現地でおこなう(棒高跳は100分～80分前)
 - 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、その事を本人又は代理人が、競技者係に申し出て了解を得ること。

5 アスリートビブス

- ・アスリートビブス(横浜陸協指定)は、2枚をユニフォームの胸と背に結着すること。
ただし跳躍種目の競技者は1枚を胸又は背に結着するだけでもよい。
- ・本大会申込時にアスリートビブスを購入依頼した者は、本部まで取りに来ること。
- ・トラック種目は、競技者係で腰ナンバー標識を渡されるので、右腰に結着する。競技終了後、各自持ち帰ること。
- ・3000m、5000mについては、競技者係で特別ナンバーカードを渡されるので、これを胸と背に結着する。競技終了後、各自持ち帰ること。また、5000mでは、周回確認用チップの入った腰ナンバー標識を渡されるので、これを左腰に結着する。これは競技終了後、返却すること。
- ・5000mに出場する競技者は安全ピンを16本用意し、その他の競技者は12本用意すること。

6 トラック競技について

- ・トラック競技では、すべて写真判定装置を使用する。
- ・トラック競技の組走路順は、主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正出発で失格とする。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)が与えられることがある。
- ・本大会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格(レッドカード)とする。
ただし、競技会からの除外はしない。
- ・3000m、5000mは段差スタートとする。
- ・中学男女800mはオープンスタートとする。

7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、現地招集完了時刻の1時間前までに競技者係へ提出する。リレーオーダー用紙はプログラムの最終ページに添付してある。不足は、競技者係で受取ること。
- ・各走者は現地にて競技開始25分～15分前までの間に点呼を受ける。
- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、原則として4名とも同色のものとする。
- ・4×100mRでは、1人1ヶ所に限りマーカースを使用することができる。
- ・腰ナンバー標識は、4×100mRは4走のみ、4×400mRは2走・3走・4走が右腰に結着すること。

- ・招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更(オーダー用紙の差し替え)は認められない。
また、医務員の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。

8 フィールド競技について

- ・走幅跳、三段跳において、A・Cピットはトラック側、B・Dピットはスタンド側とする。
- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。

9 用 具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール・砲丸・円盤・やりについては、検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものを競技者全員が使用できる。(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前で行う。)
- ・競技用シューズの靴底の厚さについては以下を守ること。

種目	ソールの最大厚さ
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を含む)	20mm
トラック競技 (800m以上の種目、障害物競走を含む)	25mm
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm
三段跳	25mm

10 抗 議

競技規則TR 8に従い行うこと。

11 そ の 他

- ・参加中学校・高校の顧問は、必ず競技役員または補助役員として、競技会運営に協力すること
(下記「学校受付について」を確認すること)。
- ・アスリートビブス(横浜陸協指定)を紛失または忘れた競技者は、本部にて新しいアスリートビブス(300円)を購入し使用すること。個人で作成したものは使用できない。
- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をする。以後の治療等は各自の責任で受けること。
保険加入等、各自事故防止対策を行い競技会に参加すること。
また、アイシング用の氷は各競技者、チームで用意すること。
- ・プログラムの訂正は、申し込み責任者が本部総務まですみやかに申し出ること。
- ・競技終了後、ゴミは各自持ち帰る。
- ・本競技場スタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・応援は拍手で行い、声は出さないこと。また、競技場内での付添い及び応援は禁止する。
- ・競技場内および練習場内への飲料の持ち込みは水のみとし、その他の飲料は持ち込まないこと。
- ・貴重品は各自で保管し、盗難・紛失には十分注意すること。
- ・記録証は、記録情報処理室にて一部500円で発行します。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷いての占有を禁止する。
- ・貴重品は各自で管理し、盗難・紛失には十分注意する。
- ・本部室の裏側通路の占有は、通行の妨げになるので禁止する。
- ・競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。

学校受付について

- ・各参加校の中学・高校の引率顧問の先生は大会当日7:30~8:00の間に本部審判受付にて学校受付を行ってください。その際、競技役員または補助役員として協力いただく先生のお名前を申し出ていただきます。担当の係については当日に指示があります。
※顧問引率のない場合は、中体連・高体連試合参加規程の通り、出場は認めません。
(クラブチームの場合は、この限りではない。)

安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、競技者、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、補助競技場では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
(※本競技場においては、1、2、3レーンを周回練習に使用し、5、6、7、8レーンを流し等で使用する予定。状況によっては、変更の指示がある。)
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止のために必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物（やり等）の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ、メディシンボール等の器具を使用しての練習は安全面から行わない。
(サブトラックその周辺を含む)
- ・跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止とする。

三ツ沢公園レストハウスの使用について

三ツ沢競技場レストハウスは陸上競技場に付随する占有施設ではありません。レストハウス内のトイレ・更衣室・通路は共用スペースですから、占有使用は認められておりません。よって大会開催時にシート・マット等を敷き占有する等の使用方法は認められませんのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。尚、大会開催時に通路等に占有物が確認されましたら、大会本部として撤去いたします。

【重要】

新型コロナウイルス感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について

- ・表題の資料は、横浜市陸上競技協会ホームページの感染症対応策に掲載してあるので、記載事項を必ず確認してください。
- ・競技会に関わる競技者、チーム関係者の方々はこの記載事項を遵守して競技会に参加して下さい。以下の注意事項を徹底して、行動してください。
- ・競技会当日開始前に本部へ提出してもらうもの
 - 一般、大学生は、今大会に関して、個人で体調管理チェックシートを提出してください。
 - 高校生については、高体連方式の参加状況報告書を顧問が提出してください。
 - 中学生については、中体連方式の参加状況報告書を顧問が提出してください。

***これらの書類が提出されなければ、競技場への入場、および出場することは出来ません。**

- ・新型コロナウイルス対策のため、保護者、OBなど観客の競技場への入場はできない。(無観客競技会)
入場できるのは出場選手、監督、コーチ、マネージャーおよび付添2名程度とします。
感染拡大防止のため最小限の人数となるよう工夫する。
- ・競技までの待機は、必ずマスクを着用し不要な会話を避け、密にならないようすること。
- ・声を出しての応援はしない。応援は拍手のみで行う。
- ・物品の貸し借りはしない。
- ・競技終了後は手指の消毒やうがい・洗顔をすること。
- ・受付の際に人数分のリストバンドを渡します。入退場の際に確認をするので、見やすい場所につけてください。